

科目名		単位数		対象年次	履修	開講回数	必要 面接時数	添削 指導回数
家庭基礎		前期	1	1年次	必履修	12	5	3
		後期	1			12	5	3
使用教科書		東京書籍 701 家庭基礎						
科目の概要		人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活、環境などについて、生活を主体的に営むために必要な知識や技能を体験的・総合的に学びます。						
年間 学習 計画	学習内容		主な学習のポイント			面接指導	添削課題	
	・生涯を見通す ・人生をつくる (P12～P37)		○生涯発達の視点からライフステージの特徴と課題を理解する。 ○自立の種類と内容を理解する。 ○意思決定の5段階と資源について考える。 ○これからの時代をどう生きていくかを考える。 ○社会制度としての家族や家族について考える。 ○見直される性別役割分業意識を自分自身にも関わることと意識する。			前期 1～4	No.1	
	・子どもと共に育つ ・超高齢社会を共に 生きる (P38～P77)		○性と生殖に関する健康について理解する。 ○子どもの発達過程について理解してする。 ○高齢者が生きがいを持って生活するために、家族や地域 によるどのような支援が必要か理解する。 ○介護保険制度について理解する。 ○地域のなかで暮らしていくために必要なことは何かを考える。			前期 5～8	No.2	
	・共に生き、共に支 える ・生活の自立 ・食生活をつくる 1～5 (P78～P118)		○誰もが生涯を通して自分の力を生かし、必要に応じて援 助を得ながら安心して暮らせる社会に向けて、家族・家庭 生活を支える福祉について理解する。 ○よりよい食習慣を身につけ、生涯を健康に過ごすため に、食生活の課題や食事の意義、食生活を取り巻く環境の 変化などを理解する。			前期 9～12	No.3	
	・食生活をつくる 6・7 ・衣生活をつくる (P119～P163)		○郷土食や行事食を継承・創造するために、日本の食文化の特徴を確認する。 ○被服の多様な機能や特徴について理解する。 ○被服の材料や性能、加工について科学的に理解する。 ○被服の洗濯や保管方法を科学的に理解する。 ○日本の民族衣装としての和服や世界の民族衣装について理解する。 ○ユニバーサルデザインの被服について理解する。			後期 1～4	No.4	
	・住生活をつくる (P164～P183)		○住居の機能やライフステージごとの住欲求を理解する。 ○防災、日照、換気などに関する環境性能について理解を深める。 ○気候や風土の違い、時代の変化によって、大きく異なる 世界や日本のさまざまな住文化について理解する。 ○自助・共助・公助に基づく地域コミュニティづくり、環 境に配慮した住生活について理解する。			後期 5～8	No.5	
	・経済生活を営む ・持続可能な生活を営む ・これからの生活を 創造する (P184～P213)		○自立した消費者として適切に意思決定を行う。 ○生涯を見通して経済生活をマネジメントする力を身につける。 ○持続可能な社会の構築に向け、できることを取り組むことができる。 ○自分らしい生活が実現できるよう生活設計をすることができる。 ○これから持続可能な社会を構築していくために、何がで きるか考えて行動できる。			後期 9～12	No.6	
評価 方法	・面接指導（スクーリング）への取り組み(意欲、興味、関心、理解度など) ・添削課題（レポート） ・試験（テスト）							
単位 修得	・面接指導（スクーリング）は、前期・後期各5時間以上出席してください。 ・添削課題（レポート）を前期・後期各3回提出してください。 ・1年次で2単位修得します。							